

事例  
55奈良県  
葛城工業株式会社

ユニットバスルーム、システムトイレ組立て用部材の製造・販売

所在地 奈良県北葛城郡

創業年 1974年

従業員数 180名

常勤  
雇用

## 大企業で培ったデータ分析力と見える化手法により、製造工程における課題の抽出と改善案を提示、生産性向上に貢献

## 取組ポイント

1. 経営力のさらなる向上
2. 社長の右腕として中長期の経営改革に取り組むリーダー
3. 生産工程データ分析と生産性向上課題の見える化

## STEP 1 抽出された経営課題

## ～経営力のさらなる向上～

企業との取引が増え会社規模も大きくなるに連れ、従来の経営手法をさらにブラッシュアップする必要があると考え、奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点が開催した「大企業連携セミナー」に参加しました。プロフェッショナル人材戦略拠点から、大企業連携スキームを利用して、将来を見据えた経営課題の明確化と改善点を客観的に抽出・分析できる従来の既成概念にとらわれない外部経営人材の登用を勧められました。



## STEP 2 プロ人材に与えられたミッション

## ～社長の右腕として中長期の経営改革に取り組むリーダー～

大企業で培った経営手腕を、大企業と環境の異なる中小企業にどのようにフィットさせるかを見極めた上で、まずは、外部から見た客観的な経営分析と課題の抽出、さらに、社長の意向を踏まえた将来の方向性を明確化し、中長期にわたる経営戦略を立案します。現経営陣と調整を図りながら、具体的な課題解決と経営戦略実現に向けた新たな取り組み、体制の見直し等の具体的な施策を実践していきます。社風を理解し、社内に溶け込み、特に人との交流を大切にしながら、一方で冷静な目を持ち続けることをお願いしています。



## STEP 3 プロ人材がもたらした効果

## ～生産工程データ分析と生産性向上課題の見える化～

入社後、当社の生産工程を理解するところから始めてもらいましたが、設備の稼働状況や停止状況などのデータを分析し、グラフ等を使って「生産性向上課題の見える化」に取り組まれました。その分析結果を毎月開催している部課長会でプレゼンしてもらったが、誰が見ても非常に理解しやすく、かつ、改善提案も費用が発生する大規模な改善ではなく、すぐに取組める小さな改善点が提案されており、生産性向上につながりました。



## 企業からの声 代表取締役 吉岡 弘修 氏

部課長会で取組内容を発表いただいた際に、単なる数字の羅列でなく、グラフ等を使い課題事項が明確に示されていました。会議に参加した管理職もデータ分析の仕方・資料のまとめ方・プレゼンの仕方など感銘を受け、改めてプレゼン力も重要と認識いたしました。その後、資料のまとめ方やプレゼンが苦手な方が、寺川氏と相談するようになり、資料の質やプレゼン力が向上し、全員がレベルアップしました。プロ人材は、一人が抜きんでた能力を発揮し、経営貢献することもあるかもしれませんが、寺川氏のように、常に周りに気を配り、周りの人々を巻き込んで課題に取り組む企業を成長させる姿勢の方が、企業全体のパフォーマンスの向上につながり、非常にありがたいと思っています。今後、いろいろな部署との関係を深め、経営スタッフとして会社に貢献いただくよう期待しています。



## 入社時のプロフィール

寺川 博氏

役職名 なし(製造部 部長付スタッフ)

年齢 59歳

家族構成 妻、子ども2人

主な経歴 大手製造メーカー半導体事業の責任者

出身地 奈良県

前居住地 神奈川県

還流ルート Uターン

(単身赴任：大分県)

## 入社した経緯

先々は出身地に戻る必要もあり、2年前ぐらいから60歳以降のキャリアをこれまでの経験が活かせる関西地方でと決め、前職でのキャリア支援部隊に相談を始めました。ほどなくして、奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点から葛城工業様が現状問題解決/経営力強化のための人材をお探しである事を支援部隊経由で受け、2018年9月に面談させて頂き、前職の引継ぎを終え、2019年5月に入社させて頂きました。

## 入社してから携わった業務

社長からは、まず現場を知ることからと、生産管理部の部長付参事として外注/購買～製造に関わる生産業務に携わりました。その中で、製造現場で様々なチェックやデータ取りをされているにも関わらず、生かされていないことに気づき、記載されたデータを集め数値化し生産性向上課題の見える化を行い、経営層への報告/提案を行いました。今年からは製造部責任者を拝命し、生産/品質面での課題に日々取り組んでおります。

## 当社での働きがい

扱う商品がそれまでとは全く違いますが、製造業経営視点での対応/判断は今までのキャリアを活かせる部分が多く、力不足ながらお役に立てていると感じる事が今の最大のモチベーションになっています。さらにステップを経て、より広く大きな各種課題に対応し、社長をサポートする葛城工業経営層の一員として励んでいきたいと考えています。